

# 琉球大学学生のSDGs学習分析

オーガナイザー：琉球大学国際地域創造学部教授 石川隆士 会場：文系講義棟104教室

## 【目的】

琉球大学におけるSDGs教育に対する、琉球大学学生による自主的な調査分析の結果を共有し、今度に向けての改善と展望をディスカッションします。

## 【ワークショップの背景】

琉球大学は2018年度よりグローバルコンピテンシーを備え、世界のリーダーとなる人財を育成するための副専攻「グローバル津梁プログラム」をスタートしました。その学修目標は大きな三本柱からなり、ツールとしての英語運用能力、スキルとしてのグローバル・コンピテンシー、そして取り組むべき対象としてのSDGsとなっています。本副専攻プログラムは、すべての学部の学生が参加可能です。そのため、あらゆる分野の専門科目が活用でき、同時にグローバルな規模で取り組むべき対象としてSDGsを選択しました。海外とのオンラインによるCOIL(Collaborative Online International Learning)を含めた、留学生と日本人学生が協働する国際共修を通じた学習は、集大成科目としての「グローバル実践演習」における模擬国連(JMUN)その成果を発揮することとなりますが、その教育課程には当然のことながらSDGsに関する科目が配置されています。この副専攻プログラムに伴って新設されたこれらの科目はまだまだ発展途上であり、多くの改善の余地を含んでいます。今回、その受講生が自ら、それらの科目を含めた琉大生のSDGsの学習状況や意識について調査を行ったので、この機会にその結果を共有し、今後につながる機会ととします。

## 【プログラム】

1. 開会（琉球大学国際地域創造学部教授 石川隆士）
2. 調査の趣旨・経緯について（琉球大学人文社会学部教授 鈴木規之）
3. 学生による調査結果プレゼンテーション
  - 大田勇慶 人文社会学部 人間社会学科 社会学プログラム 社会学コース
  - 大城千佳 人文社会学部 人間社会学科 社会学プログラム 社会学コース
  - 松村美憂 人文社会学部 人間社会学科 社会学プログラム 社会学コース
4. ディスカッション
5. 総評
6. 閉会